

町有林における間伐施業の事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

- ・町有林の適切な施業管理のため。
- ・植栽後30年が経過し、間伐適期を迎えるため、人工林健全化による森林の公益的機能を図るため。

今後の展開

- ・町有林柏原事業地は全体面積が約70haと広大であり、計画的に間伐施業を実施する。
- ・平成31年度から継続して施業を実施しており、令和2年度も引き続き施業を実施する予定。

取組の内容

- ・事業主体：北広島町
- ・実施場所：北広島町苅屋形字柏原10057-1
- ・業務委託先：太田川森林組合
- ・業務量：人工林健全化（間伐30% 16.0ha）
- ・業務金額：6,369,000円
- ・業務期間：令和元年8月～令和2年2月

施業前



取組後の感想

【良かった点】

- ・町有林での施業はモデル林的な要素を含み、施業の推進効果がある。

施業後



民有林における間伐施業の事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

- ・隣接地で里山林整備を実施するため、森林組合より貢献林施業を推進された。
- ・植栽後30余年が経過しているが、これまで施業履歴がなく、手入れ不足となっていたためこの機会に施業を実施。

今後の展開

- ・今後の森林施業については森林組合へ委託し、主伐までの管理を実施する。

取組の内容

- ・事業主体：安芸北森林組合
- ・実施場所：北広島町阿坂字雨堤11807-1
- ・業務委託先：自主施業
- ・業務量：人工林健全化（間伐30% 1.24ha）
- ・業務金額：507,160円
- ・業務期間：令和元年8月～令和2年2月

取組後の感想

【良かった点】

- ・森づくり事業に着手し針葉樹並びに広葉樹の整備が実施出来た。
- ・主要地方道沿いでの施業であったため、施業後の景観が好評であった。

施業前



施業後



間伐施業を目的とした森林作業道の整備事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

- ・人工林健全化による間伐施業を実施するため作業道を設置した。
- ・施業地での作業効率を図るため、間伐に併せて実施した。

今後の展開

- ・作業道を利用して計画的に施業を実施する。
- ・整備した作業道については、路盤補修等を実施し維持管理に努める。

取組の内容

- ・事業主体：太田川森林組合
- ・実施場所：北広島町西八幡原字クグル木10119-1・2
- ・業務委託先：自主施業
- ・業務量：森林作業道の整備 801.0m
- ・業務金額：1,083,000円
- ・業務期間：令和元年6月～令和元年8月

取組後の感想

【良かった点】

- ・作業道の開設により、効率的な施業が図られる。
- ・作業道を適切に維持管理することにより、将来的には搬出道としての利用ができる。

【悪かった点】

- ・間伐面積を集約し広範囲での取り組みを検討すべきであった。



放置された里山の間伐で景観を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

・広島市から豊平地区へ続く県道沿いに位置する森林について、天然林がうっそうと繁り、歩道が薄暗くなり景観も悪いため、等事業を活用して、整備したいと要望があった。

今後の展開

・今回整備した森林について、持続的に維持・管理していくため、所有者と長期的な管理協定を結ぶ。

町広報誌及び、電子媒体を活用し、里山林整備事業を広く周知し、多くの方に活用していただく取り組みを行う。

取組の内容

- ・事業主体：安芸北森林組合
- ・実施場所：北広島町阿坂字鍋山・雨堤
- ・業務委託先：自主施業
- ・業務量：2.91ha（間伐 50%）
- ・業務金額：3,198,090円
- ・業務期間：令和元年9月18日
～令和元年12月6日



取組後の感想

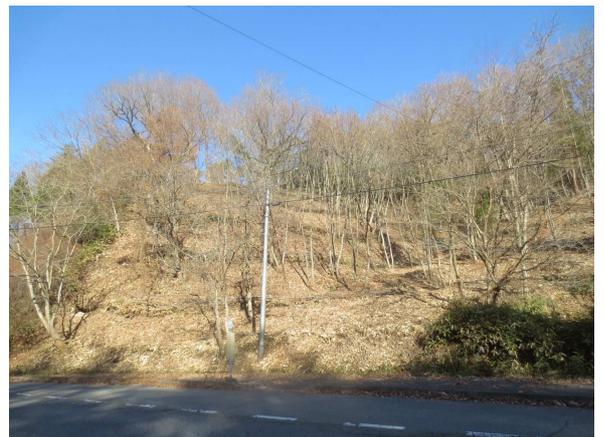
【良かった点】

・人目につきやすい場所にあるため、多くの方から「綺麗になった」「明るくなり、気持ちが良い」など好評であった。

・里山林整備事業を周知していく上で、実際の施業地を多くの方に見ていただけると感じている。

【悪かった点】

・里山林整備事業を活用し、整備した旨をアピールできる看板等を設置すれば良かったかと思う。



コナラ林の整備活動事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

・都市と農村の交流施設である「芸北オークガーデン」周辺コナラ林を整備し、四季を楽しむ憩いの場としての管理や、薪炭材として山村の産業とされてきたナラ材を木質バイオマスへ利活用し、貴重な地域資源の保全を図るため。

今後の展開

・昨年度から引き続き森林整備を実施し、併せて歩道の整備も行う。付帯施設として案内看板やベンチを設置する。作業にあたり利用する林内作業用の車両を導入する。また、事業効果の啓発活動として散策マップを作成し、来訪者へ配布する。

取組の内容

- ・事業主体：NPO法人西中国山地
自然史研究会
- ・実施場所：北広島町川小田
芸北オークガーデン周辺
- ・事業量：森林整備 1.00ha
森林体験活動 1回
- ・事業金額：2,010,912円
(うち交付金額 2,000,000円)
- ・事業期間：令和元年6月10日
～令和2年3月31日



取組後の感想

【良かった点】

・コナラ天然林の間伐整備を実施したことにより、景観が開け、芸北オークガーデンからの景色が大変良くなったと好評であった。今後、歩道からの四季に応じた景観が楽しめること、林内に生息する鳥類の巣となる木は残し生物の観測やできるようにしたこと等、憩いや学習の場として整備できた。実施箇所において整備を行ったスタッフ・動植物の専門家をガイドとして、自然観察会を実施した。専門家による詳細な説明を受けることで、森林を保全すること、楽しむことを学習できた。



テングシデ群落周辺林での保全活動事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

・国指定の天然記念物である大朝地域のテングシデ群落について、幼木の生長を阻害する周辺林地を整備するため。また、町内外に魅力を発信していくため、群落周辺の森林整備に併せ、散策道等の施設の整備が必要となるため。

今後の展開

・昨年度までに整備した散策道の舗装（ウッドチップ）及び、来訪者のための休憩所を整備する。
また事業完了の広報のためパンフレットを作成予定。

取組の内容

- ・事業主体：田原自治会
- ・実施場所：北広島町田原テングシデ群落
- ・事業量：散策道整備 600m
標識整備 3基
森林保全活動 1回
森林体験活動 1回
- ・事業金額：2,158,117円
（うち交付金額 2,150,000円）
- ・事業期間：令和元年7月22日
～令和2年3月31日



取組後の感想

【良かった点】

・平成30年度において間伐整備をしたテングシデ群落周辺の林内を横断する散策道を整備したことで、テングシデ群落の景観が広く見渡せるようになり、鑑賞や撮影に来られる方たちからも好評であった。

劣化していた案内標識を整備したことでテングシデ群落の全容が目に見えてわかるようになり、目的地への到達も容易になった。地元中学校や住民参加による清掃活動及び幼木調査体験等をしたことで、テングシデ群落を地域主体で維持・管理していくことの重要性を啓発できた。



龍頭山の森林保全整備活動事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

・北広島町を代表する山である龍頭山には、登山や自然観察を目的とし、多くの来訪者がいる。しかし近年、山頂付近・登山道周辺の樹木が生い茂り眺望の妨げとなることや、山頂の東屋や標識の損傷が激しいことから、これらを整備し、保全するため。

今後の展開

・継続2年目の令和2年度は、昨年度からの山頂付近の間伐整備を完了させ、山頂の東屋を更新し、最終年では、山頂の木製品・標識の整備、遊歩道の整備をし、自然体験活動を実施予定である。

取組の内容

- ・事業主体：龍頭山森の案内人の会
- ・実施場所：北広島町都志見 龍頭山
- ・事業量：森林整備 0.77ha
施設整備（登山道階段補修等）
森林保全活動 1回
森林体験活動 2回
- ・事業金額：2,005,180円
（うち交付金額 2,000,000円）
- ・事業期間：令和元年5月25日
～令和2年3月31日



取組後の感想

【良かった点】

・山頂付近の森林間伐整備を実施したことで「見晴らしが良くなり気持ちが良い」「山頂に向けての登山道を歩きやすくなった」などの声があった。

木製階段の補修により、安全性が増し、登山客の怪我の防止につながった。

地域住民による保全活動としての草刈り・体験活動としての自然観察会を開催したことで、地域として、龍頭山を守っていく機運が高まったと感じられた。

